

平成30年2月15日発行

RIKKO SEKAI No.1077 力行世界 平成30年2月15日発行 (1)

2018年

2月号

年4回発行(1.4.7.10月号)

No.1077

(学法)日本力行会



RIKKO SEKAI



祝 第84回 力行祭



第84回「力行祭」記念式典(2017年11月3日)



創立1897年1月1日



目次

力行祭.....2~4	各国会員の便り 年賀状 .....9
お別れイヤーエンド・パーティー.....5	留学生、移住関連記事.....10~12
りっこう幼稚園だより.....6~8	

## 日本力行会恒例行事

## 第84回 力 行 祭

-11月3日 文化の日-

当会の恒例行事である「第84回力行祭」が、去る11月3日(金)の文化の日に開催され、およそ2800名余りの参加者が集い、大盛況の内に幕を閉じた。

昨年は、当会創立120周年記念及び新園舎完成記念などの記念行事により、力行祭は休止となり、久しぶりの開催となったが、今回より式典と、新園舎園庭と園舎内で実施されるバザー及び模擬店の2部構成とな

り、会館在住の留学生達が在学先の学園祭に参加することで、力行祭での各国お国自慢の料理模擬店出店ができなくなったことは残念ではあるが、当日は晴天に恵まれ、そんなことも打ち消すほど多くの方が朝早く集い、手作り品やゲームコーナー、さらには食事処のブースにも多くの人達が長い列を作り、フィナーレを飾る園児及び卒園児有志達によるチアリーディングにも多くの聴衆が集

まるなど、広々とした会場は、この良き日を過ごすのには最高の力行祭であったと言える。

今回の開催に当たり、多くの関係者よりご支援を賜ると共に、準備の早い段階よりご協力いただいたりっこう幼稚園PTAの力行祭準備委員の方々、おやじの会の皆様ほか、ご協力頂いた皆様に心よりお礼を申し上げますと共に、以下、ダイジェストにて、当日の様子をご報告いたします。



村上理事長



尾山清仁牧師



ブラジル力行会 岡崎会長



佐藤小竹町会長

# 記念式典

村上悦榮理事長より、今回の力行祭を無事開催できたことを感謝し、ご来会頂いたご来賓の方々や関係団体及び当会役員のご出席にお礼と先人の遺業に感謝すると共に、力行祭の沿革及び去る9月に実施されたブラジル力行会創立100周年記念式典に参加した感想と今後の日本とブラジルの力行の絆の益々の発展を希望する旨を述べられた。続いての記念礼拝では尾山清仁牧

師の進行で、記念講話「最高傑作品となるために」を拝聴、本年度の逝去者報告と祈祷を行った後、ご臨席いただいた来賓より、ブラジル力行会の岡崎会長より、先日行われた「ブラジル力行会創立100周年記念式典」に多数の当会関係者が訪伯頂いた事への感謝が述べられ、続く佐藤小竹町会長からは、今後とも力行会と町会が手を携えて共に発展することを期待するお祝いの言

葉が述べられた。なお、今回の式典より、会歌「力行奮闘の歌」は式典最後に全フレーズを合唱することとなり、それに先駆け、門間評議員所属コーラスメンバー有志により、この度「力行奮闘の歌」伴奏及びフルコーラス入りのCDを作成、今回初めてこの式典でお披露目し、大変好評を得、同CDはブラジル力行会にも歌詞譜面と共に寄贈された。





# お別れイヤーエンド・パーティー

去る12月20日(水)、午後3時～5時まで力行会館でイヤーエンド・パーティーが開催されました。会館生代表者7名と何度も打合せを重ねて準備をしました。

12月は、留学生にとって試験や授業が立て込んでいます。予定していた開始時間にはポツリポツリと10人しか集まらず、パーティーにはポップスが流れ、職員と会館生の目が虚ろになっていました。予定していたイス取りゲームは、シュールであるた

め急遽中止しました(残念)。開始から40分ほどたってから会館生が増えて会場は徐々に盛り上がり、皆でパーティーを楽しむことが出来ました。

そして人が集まったところで、お世話になっている日本語ボランティアの先生方にも挨拶頂きました。日本語講師の皆様には、日本留学の根幹である日本語習得の機会を広げる、草の根活動を支えていただいております。

事務局からの出し物のピンクレディーの「UFO」をM.K.さんと踊る

企画があり、お披露目する予定でしたが想定以上に刺激的なダンスになってしまうことが発覚し、やむなくカットになってしまい……(残念)

ですが、やはりここは、世界共通のビンゴゲームが大盛況でホッとしました(笑)ビンゴゲームのプレゼントは会館生が選んだ思い思いの品です。フィギュア、アンデルセンの焼き菓子、セブンイレブンのお菓子詰め合わせと、大学の試験期間中のなか忙しい合間を縫って用意してくれました。

料理はピザ、からあげ、フライドポテト等のオードブルやアンデルセンの焼き菓子が振る舞われ、参加者全員で歓談しながら美味しく頂きました。特に唐揚げは、古くから力行会の胃袋を支えてくださる老舗の定食屋さん、休業日を返上してお届けして頂きました。

2時間の短い時間でしたが皆さんに喜んでいただき、海外から来る会館生達の盛り上がる様子を感じられる貴重なパーティーでした。

最後にご協力、ご参加いただいた皆様には心より感謝いたします。



# りっこう幼稚園だより

## いもほり遠足

もも組 松尾涼子

11月10日、さわやかな秋晴れに恵まれ川越のあらはた園へいもほり遠足に行ってきました。事前に各クラスでいもほりの話を聞き「たくさん掘りたい!」と楽しみにしていた子どもたち。バスの中でも手遊びを楽しんだりしながらますます期待を膨らませていました。

広い畑に着くと早速いもほりをスタート。なかなかいもが掘れず「できないー」という姿もありましたが、

小さな手で一生懸命いもを掘り出すと「あったー!」「見て見て!こんなに大きないも!!」と、目を輝かせ、畑のあちこちで嬉しそうな声が響いていました。自分の手で収穫したいもがたくさん入った袋を「重いよー」と言いながらも大喜びの様子でした。ゆり組は立派な葉つき大根も収穫し、両手でしっかりと抱える頼もしい姿がありました。

いもほりを頑張った後のお弁当やおやつは格別だったようで。どの学年もたくさんのニコニコ笑顔が溢れていました。

食後にはもも組はいもほりをした畑で遊び、すみれ・ゆり組は少し離れた雑木林での散策を楽しみました。

帰りのバスでは疲れて眠る姿もありましたが、園に到着し「見て!たくさんいも掘ったよ!」とお家の方に話す表情はとても誇らしげでした。

保育者や友だちと、秋の実りに感謝する1日となりました。

今後も季節の行事や経験を大切にしていきたいです。



## クリスマス会

すみれ組 楠家早織

12月13、14、15日の3日間、クリスマス会を行いました。みんなで心を込

めて一緒に聖劇でお祝いするため、1カ月前から少しずつ準備を始めました。

ももぐみにとっては初のクリスマス会のため、みんなでクリスマスとはどんな意味があるのかを知るところから始まりました。たくさんの歌を楽しみながら歌ったり、みんなで「羊」の役になりきってゆりぐみとの練習をしました。

すみれぐみ・ゆりぐみはどの役になってイエス様のお誕生日をお祝いしたいかを考え、礼拝堂で役決めを行いました。役が決まってからどんなセリフを言いたいのかを話し合い、先生たちが子どもたちの表現がより豊かになるようにまとめて台本を作っていました。台本が出来上がると、場面ごとに練習が始まりました。

すみれぐみは友だちと2～3人で気持ちを合わせて、ゆりぐみは1人でセリフを言っていきます。すみれぐみは友だちと息を合わせて言う難しさがありますが、舞台に立つと隣の友だちの存在が心強く声を大きくセリフを言うことができました。ゆりぐみは1人ひとりが大きな声で言う時にドキドキする姿が見られましたが、場面ごとの練習や礼拝堂での練習を重ねていくことで役にやりきり、豊かな表現を楽しんでいるようになっていきました。

リハーサルを行う日は朝から衣装を身につけ友だちと見せあいながら心を

躍らせる姿があちこちで見られました。礼拝から聖劇までを行うと長時間にわたりますが、出番ではない時もみんなで歌をうたい劇を作り上げていきました。すみれぐみとゆりぐみはお互いの聖劇を見合い、よいところを見つけて刺激となり自分たちの聖劇に活かす姿も見られました。

クラスではアドベントカレンダーを一日ひとつ開けたり、聖劇で演じる自分の役の絵を描いて飾り、クリスマス会を迎える準備をしていきました。

クリスマス会当日は、保護者の皆さんと一緒に礼拝から行いました。緊張しながらも自分の役を大切に練習をしてきた自信が出て、子どもたちの思いがたくさん詰まった聖劇を行うことができました。

いつも見守ってくださるイエス様のお誕生日をお祝いするためのクリスマス、聖劇は子どもたちからのお誕生日プレゼントです。『おめでとう』の気持ちが伝わってくるあたたかいひとときを過ごすことができました。



## もちつき大会

もも組 江田莉久海

1月12日、朝登園しておはようと言った。朝の支度を終わらせた子どもたちと一緒にこの後に行うもちつきに更に期待感が持てるようにもちつきの準備を見に行きまし

た。もちつきを行う前にクラス全員で蒸す前のもち米や蒸している所を見学しに行きました。その時、一人の子どもが固いもち米の匂いをかぎ「甘いにおいがするよ。」と言いました。すると近くにいた友達も匂いをかぎ「お米

と同じだ。」と言いました。目や耳だけではなく、鼻などの五感を使いもちつきを楽しんでいると伝わってきました。

もちつきが始まると早くもちをつきたいのかお手伝いのお父さんたちの応援をしながら「まだ？まだ？」と言っていました。もちがつきおわり伸びたもちを見た子どもたちは、目を輝かせながら見ていました。

もちを食べる時間になり自分たちでついたもちを嬉しそうに食べ、何度も

おかわりをする姿がありました。つきたてのもちを食べる機会があまり無い子どもたち、さらに自分たちでついたもちを食べることができ、とても楽しい体験になったと思います。

後日、もちの絵本を何人かの子どもたちと読んでみると「きなこのもち食いたい。」など自分が体験したことについて思い思いに言っている姿がありました。それを見て子どもたちにとって貴重な体験をした1日になったのだと感じました。



## 収穫感謝祭、芋煮会

もも組担任 鈴木優菜

11月13日に収穫感謝祭と芋煮会を行いました。

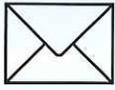
収穫感謝祭は、幼稚園の畑で収穫した野菜園庭で採れたクルミ、芋掘り遠足で掘ったさつまいもと大根、子どもたちはお家から持ってきたみかんを礼拝堂の祭壇にお捧げしました。食べ物大切さ、自然の恵みに感謝をし礼拝を行いました。

芋煮会は、子どもたちがお家から野菜とみそを持ってきて、朝から大きな鍋で煮込み、昼食時に園児みんなで頂きます。園児が登園し、クラスごとに野菜とみそを集めます。そして、作ってくださる先生方へ「よろしくお願ひします」と伝えます。もも組は初めての芋煮ということもあり自分で持ってきた野菜がどんな風になるのだろうと想像

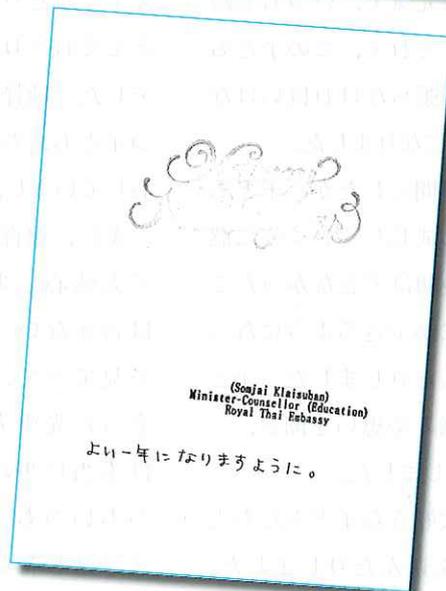
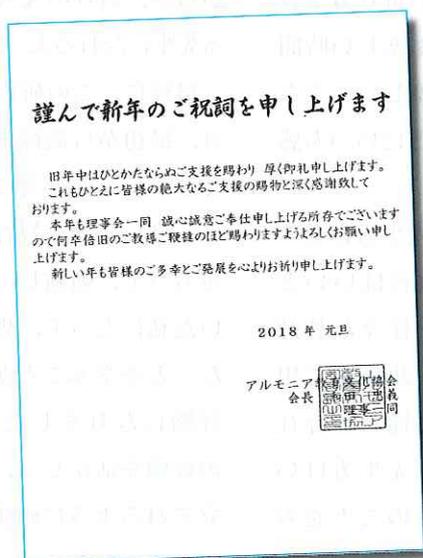
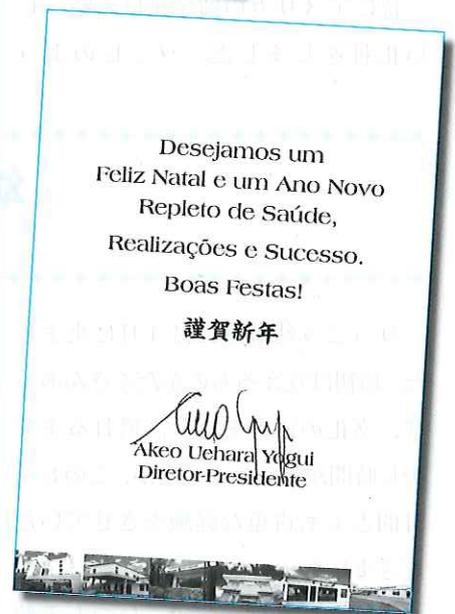
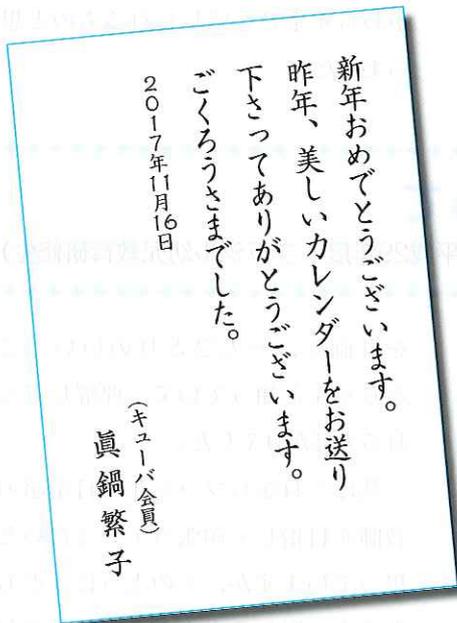
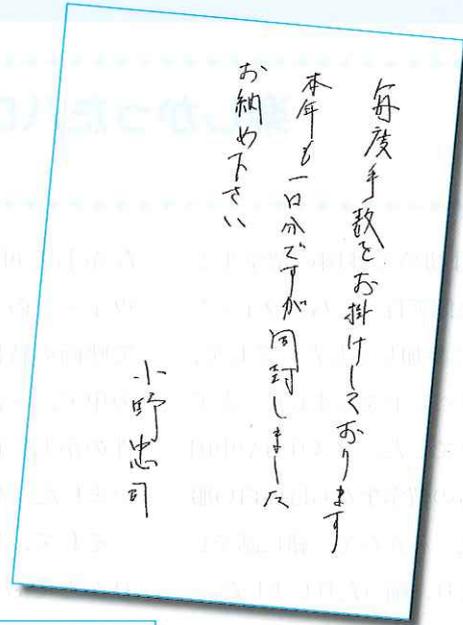
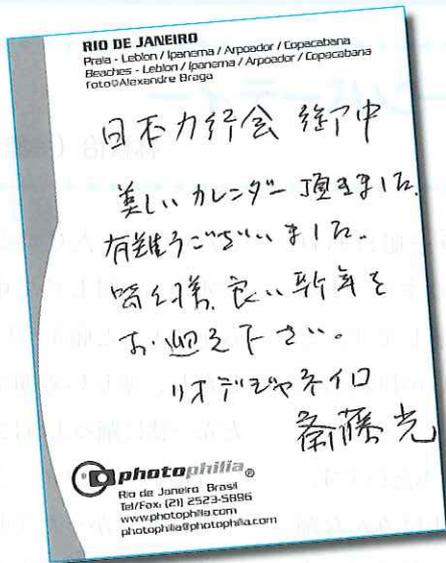
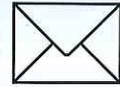
し、期待する様子もありました。また、お外遊びをしていると、芋煮を作っている鍋の近くを通る園児が「いい匂いがする」、「早く食いたい」と楽しみにする様子もありました。昼食時になりゆり組はもも組かすみれ組のどちらか自分の好きなクラスで食べます。「お芋入った」と自分の持ってきた野菜を探す姿など、みんなで食べる芋煮はとても美味しく、温かい時間となりました。

これからも、神様がくださった食べ物や自然の恵みに感謝し、子どもたちが健康な心と体にすくすく大きくなることを願っています。





# 各国会員からの年賀状



# 留学生、研修生感想文

## 楽しかったハロウィンパーティー

林秋怡 (会館生代表・中国)

今回、私は初めて外国の留学生と一緒に力行会館で行ったハロウィンパーティーに参加しました。そして、いろいろなイベントをしました。とても楽しかったです。アメリカや中国などの国からの留学生たちは面白い服装を着ました。みんなで一緒に話をしたり、歌ったり、踊ったりしました。

特にアメリカの留学生は素晴らしい化粧をしました。ゾンビのよう

なかおと可愛いセーラー服はハロウィンの雰囲気があります。まるで映画の特技のような感じです。その中で、一番印象が深いのはある女性のかおに口元から耳元まで裂けていました。本当のゾンビみたいです。

そして、外国の留学生はみんな踊りがとても上手でした。初めて、中国人として私は少し慣れていません。中国で祝日に家族と一緒に食事

したり、話したりする方が多いです。ですから、はじめで中国の留学生たちがちょっと恥ずかしいそうでした。しかし、楽しい雰囲気の中で皆だんだん一緒に踊るようになりました。

今度のハロウィンパーティーは本当に楽しかったです。はじめて一緒に踊るの国籍と言葉の区別にかかわらず幸せを感じられるものと思いました。

## 幼稚園研修をふりかえって

梶原久保美 (平成29年度 ブラジル幼児教育研修生)

りっこう幼稚園には4月に来ました。最初は覚えるものがたくさんあって、文化の違いも感じ、慣れるまで少し時間がかかりましたが、この8ヶ月間とても貴重な経験をさせていただきました。

子どもたちは元気で、いつも素敵な笑顔を見せてくれて、この子どもたちのために頑張らなければいけないという気持ちになりました。

たった8ヶ月間でしたが、子どもたちがどんどん成長していく姿に感動しました。最初はできなかったことがいつの間にかできるようになって、一緒に喜んだりしました。子どもたちなりの悩みや思いを聞き、一緒に考えたりもしました。

お外遊びが大好きな子どもたちと一緒にたくさん遊んだりしました。

私はポルトガル語で1から10まで教えるのを教えたり、ブラジルの歌を教えたりしましたが、子どもたちからもたくさん教えてもらいました。私が知らなかった遊びを教えてくださいたりして、好きなキャラクターを教えてくださいたり、折り紙の折り方を教えてくださいたりしてとても楽しい時間でした。純粋でとても優しい心をもつ子どもたちの発言などにいつも感心していました。

また、教育に熱心な先生方にもとても感心しました。教育はいいとは言えないブラジルで様々な教師を見てきて、りっこう幼稚園で出会った先生方のように憧れる存在は本当に少ないです。先生方はいつもいつも子どもたちのことを考え、話し合い、いろんなイベント

を計画し、一人ひとりのいいところちゃんと知っていて、理解してくれる方ばかりでした。

私はこれからブラジルで日本語の教師を目指して頑張っていきたいと思っていますが、そのように子どもからも、周りの大人からも尊敬される先生になれるように頑張ります。

最後に、この研修の機会をくださり、最初から最後までサポートしてくださった力行会に感謝の気持ちでいっぱいです。教育や子どもに興味をもって、勉強してみたいと思っていた私にとって、思った以上に様々なことを学ぶことができて、大切な経験になりました。これからはこの経験を活かして、ブラジルの役に立てるように頑張っていきたいと思っています。

# 法務省、意見公募を開始

## 四世ビザ制度の原案発表 ひらがな可、来月 21 日まで

日本時間の 23 日、法務省が日系四世の就労可能な日本での在留資格を与える新制度についてのパブリックコメント（意見公募）を始めた。日本と日本国外の日系社会との結びつきを強める「懸け橋」となる人材育成が目的の制度だ。四世が日語習得や日本文化の理解を目的とする活動を行うための活動資金を補うために、四世の就労活動を可能にするという考え方だ。パブリックコメントは 23 日から 2 月 21 日まで実施される。この結果を踏まえ、3 月末までに政令を発表、施行する見込みだ。（ニッケイ新聞 2018 年 1 月 24 日）

受け入れ対象となる四世は、基本的な日語を理解できる語学力（日本語能力試験 N4 程度）を持つ 18～30 歳。在留資格は「特定活動」となり、最長で 5 年の日本就労が可能。受入れ枠は毎年 4 千人程度。家族帯同不可。

2 年以上在留する場合は日語能力の向上（N3 相当）が、3 年以上の場合は日本文化及び日本国における一般的な生活様式の理解が十分に深められていることが求められる。確認方法の詳細は今後定められる。

日本滞在中の生活費を稼ぐ仕事（風俗関係は不可）があること、国民健康保険などに加入すること、健康で素行が善良であることも求められる。

本改正の目玉は「日系四世受入れサポーター」の存在。親戚やホストファミリー、雇用主などにサポーターになってもらうには、最寄りの地方入国管理局に出向いてもらい、在留資格認定証明書を取得してもらう。その認定証をブラジルの四世に送付し、四世が必要書類と共に総領事館にビザを申請する流れ。

サポーターになれるのは過去に入国に関する法令等の違反、不正をしたことがなく、四世の活動支援を確実かつ適切に提供できる個人または団体。四世から活動報告を毎月聞き、入管にその活動を毎年報告する。サポーターはボランティアであり、

金品の授受は認められない。

団体の場合は対象の四世が居住する地域で、国際交流または地域社会への奉仕を目的に活動する非営利団体であること。派遣会社は不可。

パブリックコメントの意見は日本語（ひらがなでも可）に限る。個人の場合は氏名・住所等の連絡先、法人なら法人名・所在地を記載すること。

意見提出は電子政府の総合窓口（e-Gov、<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=300130129&Mode=0>）、電子メールアドレス

([nyukan73@imoj.go.jp](mailto:nyukan73@imoj.go.jp)、法務省入国管理局参事官宛て)、郵送（〒100-8977、東京都千代田区霞が関 1-1-1、法務省入国管理局参事官宛て）、封筒に赤字で「パブリックコメント（日系四世受入れについて）」と記載することも可能。

FAX（03-3592-7835）なら冒頭に件名「パブリックコメント（四世受入れについて）」と記載すること。

現行制度では四世は「定住者」の在留資格で在留する三世や扶養者の未成年・未婚の実子に限り、日本入国・在留が認められていた。つまり成人後の四世に滞在資格がなかった。

## 在東京ブラジル大使館のお知らせ

### 電子査証（e-Visa）発給開始のご案内

2018 年 1 月 11 日（木）より電子査証システム（e-Visa）を開始いたします。現在、オーストラリア及び日本国籍所有者のみ適用されます。後にカナダや米国国籍所有者に順次適用される予定です。

観光・通過・商用ビザに適用され、有効期間は最長 2 年となります。また、ビザ発給を受ける際、手持ちのパスポートの有効期限が 2 年未満の場合はパスポートの有効期限が最長有効期間となります。

インターネットサイト (<https://formulario-mre.serpro.gov.br>) の

e-Visa よりアクセスし、ユーザー ID とパスワードを登録します。次に申請書のご記入、書類や写真のアップロード、査証料のお支払いをします。査証料は USD40 + VFS 手数料 USD4,24 です。

手数料のお支払いが完了しましたら、ビザの許可が下りるまでしばらくお待ち下さい。許可が下りましたら PDF ファイルの e-Visa をダウンロードして印刷し、搭乗及び入国手続き時に提示する必要がありますので、ブラジル出国までに必ずお持ち下さい。

e-Visa 申請に必要な書類はパスポートのコピーと写真です。写真は今まで通りの規定、または、日本のパスポート用の写真と同じサイズでお願いします。背景は白です。写真に問題があった場合は、手続きが中断され、申請者に返却されますのでご注意ください。

未成年の場合は、ご本人のパスポートのコピーと戸籍謄本が必要

です。単独または片方の保護者のみと旅行される場合、同行されない保護者の同意書が必要です。同意書のご署名はパスポートと同じ署名でお願いいたします。印鑑を押印される場合、印鑑証明書を添付してください。

電子査証システムが開始されますが、今まで通り当館にてビザの申請は可能です。



(ニッケイ新聞 2018年1月24日)

日系四世受け入れ家についての意見公募が始まったことが、四世本人たちの間でも話題になっている。まず法務省が四世受け入れ制度の導入を発表したというポ語報道が流され、その後、意見公募のページが拡散された。日本語でしか受け付けられないという記述を受け、早速「四世が意見を贈れるページはないのか」などと疑問が上がっている。昨年から日本語の勉強を始めた四世も多い。四世が同制度に対してどんな意見を持っているかを探るためにも、ひらがなだけで書いた文章は当然としても、せめてローマ字で書かれた意見も受け入れてみても

良いかも。

◎

四世ビザの意見公募では、いろいろな意見が出そう。例えば、本面で昨日報じた J-TEST も、四世ビザの能力検定方法の一つとして認められれば、より便利になりそう。日本語能力試験は年に1回しかないが、J-TEST は年に6回可能。日本へ行きたい四世には、より利便性の高い試験といえる。また日本国内で就労する仕事が会話中心であれば、今は入国時に N4 レベルが求められているが、N5 でも良いのでは—というよう意見が、どんどん寄せられてもおかしくなさそう。

## 日本力行会機関紙「力行世界」 定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立120年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生宿舍・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。

敬具

平成30年2月15日発行  
年4回発行(1・4・7・10月号)  
発行  
(学法)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp

ホームページ

<http://www.rikkokai.or.jp>

### 訃報

中村 靖 (元日本力行会理事長)

2018年10月19日逝去、享年85才

檜山 行造 (元日本力行会評議員)

心よりお悔やみ申し上げます